

South Wind

サウスウィンド Mar. 2022 Vol.100

特集

第16回 世界とトモダチみやざき国際フェスタ



Contents/ 目次

第16回 世界とトモダチ みやざき国際フェスタ	2,3
第16回 外国人住民による 日本語スピーチコンテスト	4,5
South Wind100号に寄せて	6
宮崎県国際交流協会ニュース	7
INFORMATION	8

第16回 世界とトモダチみやざき国際フェスタのベトナムブースを訪れたお子さん達です。ベトナムの写真や本を見ながら、ブースの方と楽しそうにお話していました。

フェスタ会場では、小さいお子さんから大人の方まで、皆さん楽しんでいただきました。



公益財団法人 宮崎県国際交流協会
<https://www.mif.or.jp/>



世界とトモダチ みやざき国際フェスタ



令和3年12月5日(日)宮崎県企業局庁舎県電ホール・ギャラリーにて「世界とトモダチみやざき国際フェスタ」を開催しました!

世界の国ブース

韓国・中国・ベトナム・シンガポール・カナダ・イギリス出身の方々による各国の紹介ブース。おしゃべりの花が咲き、「小さな世界旅行」を満喫していただいたようです。



国際交流団体ブース

工夫を凝らした展示で活動内容をPRしてくださいました。



(宮崎市国際交流協会)

中国菓子のふるまいが喜ばれました!



(清武町国際交流協会)

留学生との交流を楽しんでいただきました!



(宮崎ブラジル親善協会)

宮崎県からブラジルなど南米移住の歴史や写真をパネル等で展示・説明しました!

JICA 国際協力ブース

国際協力に関心のある方が熱心に耳を傾けていました。



日本伝統文化体験 ~風呂敷の包み方~

着物姿のメンバーによる華やかな雰囲気の中、風呂敷の包み方を教えていただきました。外国人も日本人も興味津々で取り組んでいました。



(宮崎環境サポーター倶楽部)

世界の音楽と踊り

コロンビアのダンスと中国の二胡の演奏が披露されました。また、世界の太鼓を来場者で一緒にたたいて楽しみました。



(デイシーさん(左)、ヨシダさん(右))



(二胡倶楽部)



(宮崎ドラムサークル)

国際理解講座 ベトナム編



宮崎県ベトナム人協会のグエンバンカンさんが、協会の活動やベトナムのお正月の過ごし方についてお話ししてくださいました。会場の皆さんからもたくさんの質問があり、ベトナムについての関心の高さがうかがえました。



ボランティアの皆さま、協力者の皆さま、そしてご来場いただいた皆さま、どうもありがとうございました！



(アートフェスティバル会場)

第16回アートフェスティバル「外国人が見た宮崎」作品展 (11月17日~12月4日)

19 国・地域の 33 名の宮崎県在住外国人や外国にルーツのある方々から、写真 45 点、絵画 2 点、書道 5 点、手工芸・その他 1 点、合計 53 点の出展がありました。どの作品も素晴らしく、見応えのある作品展になりました。作品への総投票数は、延べ 213 票集まり、沢山の皆様にご来場いただきました。

観賞された皆さまの投票により決定した、今年度の最優秀作品と受賞者は、次のとおりです。

写真部門



「Sunrise Time at Aoshima Shrine Miyazaki」
バユ ブリヤンバダさん(インドネシア)

絵画部門



「To All Who I Have Ever Met」
ニカ ユーさん(ニュージーランド)

書道部門



「First Love 愛」
ピアコバ ナタリアさん(ウクライナ)

手工芸・その他部門



「Nobeoka」
アルジョ マーチネズさん(アメリカ)

来場者コメント(一部抜粋)

- どの作品も素敵で、1つ選ぶのが難しかったです。 ● Excellent!!
- どの作品からもストーリーを感じた。 ●全部すごいです! ●来年は参加したいです。
- コロナ禍で気分も落ち込んでいる日々でしたが、作品展を訪れて、日本(宮崎)で頑張っている外国人の方も沢山いると感じ、励まされました。



第16回

外国人住民による 日本語スピーチコンテスト

今年も開催
されました!



▲会場の様子



▲表彰式

令和3年12月5日(日)に宮崎県企業局庁舎1階県電ホールにて「外国人住民による日本語スピーチコンテスト」が開催されました。学生の部・3名と、一般の部・5名の計8名の出場者によって「私と日本」をテーマにスピーチが行われ、たくさんの聴衆の方が耳を傾けていました。

出場者の皆さま、素晴らしいスピーチをありがとうございました！
次のページには各部門の最優秀賞者のスピーチを掲載しております。



一般の部 優秀賞
ファム ティ ハイソさん
(ベトナム)



学生の部 優秀賞
張 卓雅さん
(中国)



学生の部 オーディエンス賞
ニーリザー ソワーン モムさん
(カンボジア)



一般の部
グエンティゴックミーさん
(ベトナム)



一般の部
アラムムハンマドシャヒヌルさん
(バングラデシュ)



一般の部
トーマス ローソン ハモンドさん
(カナダ)





学生の部 **最優秀賞**
リカードさん
(インドネシア)

「私と日本」

皆さんは、一見面白くなさそうなものなのですが、一度試してみると、案外楽しかったり、最初にやる意味が分からなかったけれど、何回もやってみたら、はまってしまったりしたことはないでしょうか。実際に私はそのようなことを経験したことがあります。以前の私が感じていた日本と今の私が感じている日本について、皆さんと私の考えを共有したいと思います。

昔から見てきたアニメは、どれも日本の文化を映していました。友達との温泉や、お祭りでの着物や浴衣など、全部、私の母国、インドネシアでは体験できないものばかりでした。そのため、皆さんが普通だと認識しているものは当時の私にとって別の世界でした。でも、日本に来て、日本の文化に触れて、やっとその面白さを理解することができました。その一つの例として友達と大浴場に入った経験をお話したいと思います。

今年の4月に、寮から急に「留学生用のシャワー室が工事をすることになってしまったので、日本人と一緒に寮の大浴場に挑戦してみてください」と言われました。インドネシアには大浴場がないうえ、人前で裸になることは絶対にありません。そのような文化がないのです。それゆえ、当時の私にとっては、おかしいとしか思っていなかった大浴場に、急に入れと言われても、日本人学生と一緒に入れると思いますか？入れるわけがありませんよね？困惑していた私は、日本人の友達に事情を話してみたら、寮に文句を言ってくれるどころか、逆に、一緒に大浴場に入ろうと誘って来ました。私も「君は恥ずかしくないのか」と聞いたら、友達は「全然。男ならみんな普通についてるじゃん。それとも、もしかしてリョタはついてないわけ？」と冗談めいて言いました。正論をかまされた私は、頭の中では何とか納得できましたが、心の中ではそう簡単に納得できませんでした。今までおかしいと思っていたことをやれと言われても、なかなかできないものですが、彼のその一言で少しあおられた私の心に「よし、いっそ挑戦してみようか」という大胆な考えがよぎりました。その結果、私は人前で初めて裸になりました。変な感じしかなかったのですが、皆が私の体を見もしませんでした。「なんで私だけがそんなに恥ずかしいのか、バカみたいだ」と思い、勢いのまま大浴場に入りました。そのとき、日本人の友達と地元の話などがたくさんできて、大浴場は意外と楽しいところだと思ってしまいました。これは間違いなく、以前疑問に思っていた、「日本人が言う例の裸のお付き合い」なのだと思えました。それ以来、日本人の友達と色々会話をした場所は、寮の大浴場になりました。友達との親睦を深めたいなら大浴場に勝るものは無いというのが、今の私の大浴場に対する印象です。

これからも、日本や日本人に対する印象はころころ変わっていくと思いますが、新しい発見や考え方などをみつけられる自分を、楽しみにしています。実際に留学を通じて、いろいろなものを体験し、挑戦できることは、私の人生におけるとても素晴らしい経験だと思います。ご静聴ありがとうございました。



一般の部 **最優秀賞**
ラムティトゥホアイさん
(ベトナム)

「日本は赤唐辛子」

皆様、こんにちは。唐辛子って辛いですよね。でも私にとって唐辛子は甘いのです。なぜ唐辛子が甘いのか私のストーリーをお聞かせください。

2019年3月に技能実習生として宮崎市の田野町に来ました。以前外国に行った事はありませんでしたので日本に来て初めて、母国を離れて外国に住む事はどんなに大変なのか分かってきました。文化、言語、食べ物などが違い、全てベトナムでの私の生活が変わりました。その時日本語がまだあまり分かりませんでしたので、日本人が言った事を理解するのは難しかったです。それに仕事、日常生活にもまだ慣れていなくて何でもかんでも大変でした。怖い、寂しいでした。毎日ベトナムの母親、父親、姉、弟、友達と話したいでした。日本はこういう寂しい生活なんだと思いました。もう日本に来た目的、これからの人生設計が全部頭の中から消えてしまい、元々内気な私をもっと引きこもりになりました。仕事以外はスーパーに行くぐらいだけでした。楽しいことがなくて、やる気もなくて、本当に辛い毎日でした。

しかし、赤唐辛子がそれを全て変えてくれました。会社に行くいつも通っている道端の空き地に赤い実がいっぱい実っている唐辛子がありました。ベトナムではみんな普通に唐辛子を料理に使っていますが日本ではあまり使っていないのでスーパーに行っても買えるわけではありません。なので、どうしてもその唐辛子が欲しかったのです。勇気を出して、一番近くの家に行行ってベルを押ししました。「こんにちは、すみません、唐辛子があったのですが何個か頂けませんか」とドキドキして聞きました。

「それはね、よその土地だよ。うちのじゃないのよ」おばあちゃんが言いました。心が折れてがっかりして帰りました。

1ヶ月ぐらい後、仕事が終わって、自転車で帰る途中で、そのおばあちゃんに呼び止められました。「ちょっとこっちに来て」家の横の小さな庭を見せました。いろんな野菜が育ててありました。キャベツ、にんじん、オクラなどでした。その中に目立つ赤唐辛子もありました。「ラムちゃんのために、この唐辛子を植えたよ。故郷の味を食べたいよね、全部採ってもいいよ」と輝く笑顔で、ハサミと袋を渡してくれました。感動のあまり「ありがとう」も言えませんでした。その瞬間、赤唐辛子のように私の心が温かくなりました。晴れました。日本に来て1ヶ月ぐらい経って初めて日本に触れ合いました。宮崎に触れ合いました。日本人に触れ合いました。にわかに、自分1人の世界を出て、みんなといっぱい、いっぱい話したくなりました。なぜもっと早く気がつかなかったのだろう。この人生が美しい。周りの人々が美しい。自分の未来も必ず美しいと悟りました。

毎日、元気な声で会う人会う人に挨拶して、話しました。日本語をしっかりと勉強して、よく部屋を出て周りの綺麗な景色を自分の目に焼き付けて、心にしまいました。だんだん友達ができました。おばちゃん、おじちゃん、お姉さん、お兄さん、みんなが私の2つ目の家族です。今まで、宮崎で毎日楽しく過ごしてきました。その赤唐辛子は私の心に深く刻み込んで忘れられないものです。それは緑の葉っぱ、赤い唐辛子、輝くおばあちゃんの笑顔です。

皆様、自分の心の赤い唐辛子は何ですか？ 以上です。ご静聴ありがとうございました。

South Wind ★★★ 100号に寄せて ★★★

1990年に創刊号が発行されて、この度100号を迎えました。
このページでは今までに発行されたSouth Windを通して、宮崎県国際交流協会の30年間の歩みをふり返ります。



1990年 創刊号

2月1日に宮崎県国際交流協会が設立されました。

1993年 Vol.14

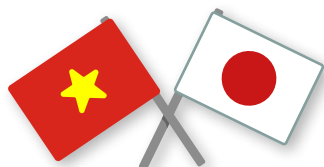
「外国人のための日本語講座」が開設されました。以後、多くの外国人が日本語を学ばれています。



平成 31 年 日本語講座

1997年 Vol.31

「21世紀のための友情計画～ベトナム青年宮崎訪問」2021年6月時点で宮崎に住むベトナム人は2,699人、これからも同じ宮崎に住む住民として相互理解を深めていきたいです。



2006年 Vol.64

「多文化共生社会を目指して」というコラムが始まりました。多文化共生アドバイザー派遣事業もその一翼を担っています。



多文化共生アドバイザー派遣

2014年 Vol.85

「やさしい日本語」多文化共生社会を目指すためにも、必要なツールとなっています。

たとえば、
せういん、びやうご
病院の受付で



しよん
初診ですか。
ひやうけん
保険証は
お持ちですか。

はじ
ここは初めてですか。
このカードはありますか。

2022年 Vol.100

1991年 Vol.5

「橋通アーケードの柱にアセアン諸国をイメージした銅板のレリーフ完成」国際交流の風を感じます。



1994年 Vol.18

8月1日に「宮崎県国際センター」が県庁東別館6階にオープン。それ以来、数回の引っ越しを経て、現在はカリーノ宮崎地下1階に事務所を構えています。



現在の国際プラザ

2005年 Vol.61

「国際理解講座」がスタート。この年以降、毎年4か国程度取り上げ開催しています。参加された皆様にとって国際理解を深めるとても良い機会になっています。



平成26年
国際理解講座 カナダ編

2008年 Vol.69

「在住外国人のための防災バスツアー」開催。外国人が安全に宮崎で暮らせる社会を目指しています。



平成 20 年 防災バスツアー

2019年 Vol.95

「日本語れんしゅう会が善行表彰を受賞しました。」現在、120名の日本語ボランティアが当協会に登録され、外国人の日本語学習を支援していただいています。



平成 22 年 日本語れんしゅう会

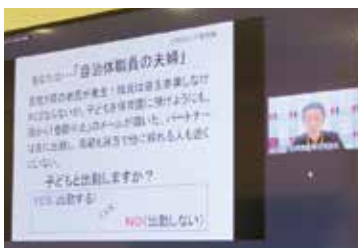
以上、これまでのSouth Wind を駆け足でふり返りました。2015年以降のSouth Windは協会ホームページで、それ以前のもものは協会で見ることが出来ます。これからも宮崎県国際交流協会は、世界と宮崎のつながりを大切にしながら、多文化共生社会を目指す取り組みを続けていきます。その取り組みは今後も、このSouth Windでみなさんへお伝えしていきます。お楽しみに！

宮崎県国際交流協会 ニュース

● 次の講座を開催しました。 ●

外国人支援のための防災講座

10月7日(木)、佐賀県国際交流協会の矢富明德氏を迎えて、自治体職員等向けに、佐賀県における多文化防災の取り組みについて、防災訓練の実施例や様々な市町村での取り組みなどを交えながら講話をしていただきました。日本人住民と外国人住民が「共に取り組む防災」を目指していくことが、今後の多文化防災の在り方として必要になってくると感じました。



日本伝統文化体験 生け花 in 古民家

10月23日(土)に、県総合博物館の「古民家」にて、「日本伝統文化体験講座 生け花 in 古民家」を開催しました。参加者の外国人住民の皆さんは、講師の野田とよ子先生による丁寧な説明に耳を傾け、真剣な眼差しでお花を生けていました。

最初は少々苦戦しながらも、完成した自分の作品に、皆さんとても満足しているようでした。



外国人住民のための防災セミナー(小林市)

12月4日(土)に小林市やえびの市にお住いの外国人を対象にした防災セミナーを開講しました。熊本地震を体験したKEEP (Kumamoto Earthquake Experience Project)の外国人のメンバーから、実際に熊本地震で体験したことを聞き、災害が起こったときの避難について考えました。また、日本語教師と実際に避難するときを持って行くべきものなどを話し合いました。非常食を試食しながら、日本語サポーターの方々と一緒に防災について知ることが出来ました。



国際理解講座 バングラデシュ編 「日本とバングラデシュの友情」

12月11日(土)、バングラデシュ出身のサルダール・シナさんに、バングラデシュの自然や歴史、文化、生活の様子などをお話しいただきました。シナさん手作りのバングラデシュのお菓子を試食したり、バングラデシュの衣装を試着したり、国歌を歌ったりとバラエティに富む構成で皆さんたいへん楽しんでおられました。終始笑顔を絶やさずことなくお話しされるシナさんの人柄が、さらにバングラデシュの魅力を引き出したようでした。



宮崎県における地域日本語教育体制整備事業

宮崎県は、令和元年度より文化庁の「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」の採択を受け、当協会が事業を受託し実施しています。

宮崎県でも年々増加している外国人住民は、日本人と同じく、宮崎県民として地域で生活を営み、社会を支える存在です。「国籍に関係なく、一人一人が宮崎の暮らしやすさと安心感を実感でき、多様な文化や言語等を理解し、尊重し合える社会」が実現できるよう、本事業において地域日本語教育の充実を図っていきます。

☆日本語教育の実施・日本語教育人材の育成等として、本年度開催が終了したものは以下の通りです。

- ・日本語講座(宮崎市・宮崎大学・オンライン)
- ・地域日本語教室(日向市・新富町・川南町・三股町・日南市)
- ・日本語スピーチコンテスト
- ・日本語学習支援者養成講座(オンライン・川南町・日向市・三股町・日南市)
- ・地域日本語教育サポーター養成講座(小林市)
- ・日本語教育・多文化共生入門セミナー(県民向け・自治体向け)

<地域日本語教室>



かわみなみ日本語教室



にほんごサロン「きらり」in新富

ちよっぴといき

South Wind100号に寄せて

常務理事兼事務局長 川添 哲郎

宮崎県国際交流協会の情報誌「South Wind」は、1990年の第1号の創刊から、今回で100号となりました。30年の歩みを振り返る年表を見ると、国際交流の在り方もずいぶん変わってきたように思います。

特に新型コロナウイルスが、世界中で猛威を振るいだしてからの2年。この間に、社会の機能や人の行動の在り方は大きな変容をとげようとしています。

コロナ禍で思うように人と会えなかったり、行動が制限されたりと、こんな世の中になるなんて誰が想像していたのでしょうか。

コロナ禍における外国人の出入国に関しては、世界規模での出入国制限の実施により、新たに入国してくる外国人数は減り、逆に出国できず在留期間が長くなる外国人の数は増えつつあります。

コロナ禍以前は、「国際交流」と言えば、観光や留学などで一時的に在住する外国人と日本人の間で、お互いの文化を理解し楽しむというイメージが強かったかもしれません。

しかし、昨今の状況においては、外国人も私たち日本人も、同じ「生活者」として地域で暮らす隣人関係

にあるのです。

日本語スピーチコンテストでの発表者の声。日本の文化に馴染むことにチャレンジする、日本語で自分から話しかけてみるなど、宮崎で「生活者」として地域で暮らす姿を私たちに教えてくれました。

私たち日本人に何ができるか…。

まずは「おはようございます。」「こんにちは。」「こんばんは。」などの挨拶から！ご近所さんでよくある挨拶も、言葉が違うとなかなか声をかけづらいかもしれません。しかし、同じ宮崎県民として生活する地域住民同士と考えれば、自然と声かけられるのではないのでしょうか。

お互いに対等な「生活者」として、共に安心して地域で暮らしていくために、自分ができる事を一人一人が考え、そして実際にやってみませんか。

それが、国際交流や多文化共生への取組につながる第一歩になると思います。

宮崎県国際交流協会も、South Wind200号を目指し、皆さんと共に一步一步進んでいきたいと考えています。



INFORMATION

外国人のための日本語講座(初級)※要申込

県内在住の外国人の方を対象に日本語講座(初級)を開催します。ぜひご参加ください。

【対象】宮崎県に住む外国人、初めて日本語を学ぶ方、日本語の「読む」「書く」を学びたい方

【場所】カーリーノ宮崎地下1階

【受講料】無料

【教科書代】2,376円(税込)

【申込方法】所定の申込用紙に記入し、来館、メール、郵送またはFAXにて、お申し込みください。

【申込先】(公財) 宮崎県国際交流協会

日時は決まり次第HP等でお知らせします。

外国人のための日本語れんしゅう会

日本人ボランティアと日本語の学習をします。通年開講しており、いつからでも参加することができます。

【対象】宮崎県に住む外国人 【日時】毎週水曜日・金曜日 10:30～11:30

【場所】カーリーノ宮崎地下1階 【受講料】無料

【問い合わせ】(公財) 宮崎県国際交流協会

みやざき外国人サポートセンターからのお知らせ

みやざき外国人サポートセンターでは、県内在住の外国人のみなさんからの生活に関する相談を対面・電話・メール・オンライン(ZOOM)で受け付けています。

詳しくは下記までお問い合わせください。

【問合せ】みやざき外国人サポートセンター

T E L : 0985-41-5901

F A X : 0985-41-5902

E-mail : support@mif.or.jp

U R L : https://support.mif.or.jp



Website



Facebook



Instagram

◆ 賛助会員 入会のご案内 ◆

会費：個人会員 年間1口 2,000円 団体会員 年間1口 10,000円

特典：協会発行の定期刊行物「プラザニュース(日・英・中・韓)」、「South Wind」等の提供、協会開催事業への先行案内・優先参加、協会開催講座の参加割引、協会HPから団体HPにリンク可能(希望団体のみ)



South Wind

サウスウィンド
Mar.2022 Vol.100



企画・編集 公益財団法人 宮崎県国際交流協会 第100号 2022年3月発行

〒880-0805 宮崎市橋通東4-8-1 カーリーノ宮崎地下1階 TEL.0985-32-8457 FAX.0985-32-8512

● URL <https://www.mif.or.jp/> ● E-mail miyainfo@mif.or.jp

情報・意見などをお寄せください。

外国人との交流会など、国際交流に関する催しを計画している団体やサークルの情報をお待ちしています。また、国際交流に関する話題や体験談、意見なども協会にお寄せください。本誌に対する要望もお待ちしております。

